

事例シート

■After	バスティーユ高架橋					
	建築名称	Bastille Viaduct				
用途	大分類	商業施設、その他				
	小分類	店舗、公園				
設計者	Patric Berger, Janine Galiano					
所在地	Paris, France	Google Map				
竣工年	1994,1996年					
掲載誌	『コンパクト建築設計資料集成 都市再生』丸善出版					
資料						
賞・選定						
クライアント	Societe d'Economie Mixte d'Amenagement de L'Est de Paris (パリ市)					
助成金・法令						
URL	https://www.theguardian.com/travel/2017/jun/07/paris-promenade-plantee-free-elevated-park-walkway-bastille-bois-de-vincennes					
■Before	Bastille Viaduct		概要 Before パリ・バスティーユとヴァンセンヌ間を結ぶ鉄道の高架軌道であった。1969年の廃線以降、しばらく使われないまま放置されていた。			
建築名称	Bastille Viaduct					
用途	大分類	交通流通施設				
	小分類	鉄道				
■写真	Before	After	After			
	写真 Before 					
		緑豊かな歩行者空間となったかつての高架軌道	地上10mの緑道にアプローチするためのエレベーターや階段が各所に設置。			
撮影・提供者	撮影・提供者 柳沢伸也2004年撮影		撮影・提供者 柳沢伸也2004年撮影			
■手法	● 用途変更	部分保存	痕跡	● 外観保存	外観改変	外観保存、一部増築 鉄道構造物は保存しつつ、軌道跡に木製デッキが敷かれベンチや植栽などを設置。高架下の大空間には統一された木製サッシがはめ込まれ、煉瓦のアーチ天井がそのまま露出した店舗空間が連なり、鉄道高架の記憶がとどめられている。
	● 増築	減築	挿入	対比	同化	
	併存	引用	被覆	合体	補強	
	移築・曳家	復原・復原	遺構	アート		
■備考	使われずに打ち捨てられていた高架鉄道跡を、上部を歩行者用広場、高架下をショッピングモールへと転用した世界でも先駆的な事例。地上10mに位置し、長さ約4.7キロメートルに及ぶ。高架上の緑道にアプローチするための階段やエレベーターは各所に設置され、バリアフリー対策も徹底している。単調になりがちな軌道跡の直線的な空間に、空中広場やブリッジなどを設けて変化のある空間を形成している。周囲の広場や公園とも連続させ、24時間通行可能な市民の憩いの場を形成している。高架下の大空間は、統一された木製サッシが設置され、多くの店舗は高い天井を利用して2層に区切り活用している。店舗選定に当たっては、カフェや文化的な情報を発信する業種に絞り、センスの良いカフェや家具ショップ、デザイン雑貨などが軒を並べている。こうした試みのより、現在では人通りの絶えることのない歩行者空間に変貌した。産業遺産である土木構造物が、人々の憩いの場として再生された好例。					
■作成者	氏名(所属)	柳沢伸也 (JIA再生部会)		整理番号	SY-003	